

新行事UTすぽかるふえす 2020 特集号

二学期が始まりました。前向きに精一杯頑張っています

上宮太子ニュース

～感謝と挑戦～

学校新聞

令和2年度

『上宮太子ニュース』

9. 10. 11月号

発行：上宮太子
高等学校

今年の太子の秋は**すぽかるふえす**で盛り上がりました。

全く新しい、太子生の活躍の場

文化祭や体育大会が行えない状況化でも、それに代わる生徒主体の活動を少しでも行えないか、また文化部の発表の場が作れないか、そんな思いから、生み出されたのが「すぽかる」です。二日間にわたるイベントとなっており、本校の体育大会における4つのカラーチーム（オレンジ・ブラック・イエロー・ライトブルー）をベースに、まず初日にスポーツ部門（チーム対抗リレー・ソフトテニス・ソフトボール・ドッジボール・サッカー・バレー・バスケットボール）、翌日にカルチャー部門（フェニールチェアに会場を移して、それぞれのチームで制作・準備してきた旗・合唱・学校紹介ビデオの発表と審査で競い合い、そのそれぞれの結果をポイント化し、優勝チームを決めるというものです。また文化の部の日には、軽音楽部・吹奏楽部・コーラス部・ダンス部の発表も行われました。

本校初の試みである「すぽかる」が行われました。何の種目で参加するかは、それぞれの選択でもあり、活動も感想もそれぞれ違ったものとなったと思います。さまざまな体験と感想を聞いてみたいと思います。

新聞委員からの報告です。

8月31日、9月1日。普段は上宮祭、体育大会という行事をしていましたが、今年は新型コロナウイルス感染症の影響により、『UTすぽかるふえす2020』という新たな行事が生み出されました。

1日目はスポーツの部。私はとある

事情により、残念ながら参加できませんでした。ドッジボールの見学をさせていただきまし。みんな、ボールをぶつかったり避けたり、白熱した戦いを見ることができました。

2日目は、フェニールチェアで文化の部が行われました。たくさん文化部の演奏やダン



サッカー



青空の中、ソフトボール

8/31・9/1

初日のスポーツ部門



チーム対抗リレー



したのですが、ほかのチームのバスケットボールもものと見たいと思いました。でもすぐ学年関係なく本気で取り組んでいてとても楽しかったです。（藤田）

ス、そして各色の素晴らしい発表があり、上宮太子の仲間が、学年関係なく心をひとつに楽しむことができました。残念ながら、今年は例年のような上宮祭、体育祭はできませんでしたが、新しい『UTすぽかるふえす』という新しい上宮太子の歴史が作られました。この行事を企画してくれた上宮太子生と先生方に感謝したいと思います。（川上）

すぽかるふえすは高校に入ってから初めての行事ですごく楽しみにしていました。1日目のスポーツの部は新型コロナウイルスが流行ったため体育館には人が集まらないようにしなければならなくて私はバスケットボールを



ソフトテニス

今年度も、記事の内容は各クラスの新聞委員が記者となり記事の内容を報告いたします。



バスケットボール

ともあり、ボールを取ることがすごく難しく、取れたとしても強く投げられる人が居ない状況でした。それでも諦めずに頑張りました！1回戦より2回戦の方が上手くいったりしました。諦めないことが大事だと改めて思いました。（月成）

今回のすぽかるふえすのスポーツの部に自分が感じたのは、体育大会や文化祭がなくなり、三年生にとって最後の上宮太子でのイベントになったこともあり、前年のどのイベントよりも、三年生の熱量の半端じゃない凄さを感じました。どのチームも切磋琢磨し、何としても勝つなどといった、気持ちの強さが全体から感じることができた。凄く素晴らしいものだと感じました。どのチームも、短期間の中で技術を高め、すぐ見えたが、感動がでる面白さ、試合をどのチーム、どの種目も、できていて、すごく見て面白かった。そして、最後の色別対抗リレーでは、生徒全体の熱気もさらに上がり、感動の過ぎるすぽかるふえすでした。（井戸田）

私はスポーツの部ではドッジボールに参加しました。私はブラックチームだったんですが、人数が元から4、5人少なくて、1人が2人分の命を持つということになりました。他のところより人数が少ないというこ



ドッジボール

した。無事その後決勝まで勝ち上がることで最後の試合は経験者かなと思っていたら一回戦目に当たった野球部のメンバーと当たりました。一回戦目とは見違えるほど上手になっており、野球部の運動センスを肌で感じました。決勝も無事勝つことができて優勝できました。とても楽しかったです。（豊浦）

私はすぽかるふえすに参加し、今回コロナなどで、ほとんどの行事がなくなった中、すぽかるふえすをして、とても良かったと思います。その理由は、私はスポーツの部ではテニスに出場しましたが、その中でチームの仲間と協力してやるのが、とても楽しい経験になったからです。（久嶋）

UTすぽかるふえす2020スポーツの部では、僕はバレーボールの部門で参加をしていました。どこのチームも素晴らしい試合をしていて見るだけでも盛り上がるのでした。僕のチームは表彰には入られませんでした。とても楽しかったです。カルチャーの部では参加したのですが、やっぱりこうして仲間と汗を流して、笑顔で本気になれる場や機会があるのは、コロナの影響もあったと感じました。そして、この二日間の行事を企画し、実行してくださった皆様、心から感謝申し上げます。（琴原）



バレーボール

が、合唱で賞を取ることができ、とても良かったと思いました。例年には無かった行事でしたが全員が楽しめるようになっていて大変良かったと思います。（橋本）

1日目のすぽかるふえす2020のスポーツの部はほぼドッジボールに参加させていただきました。午前の部はみんな元気に楽しそうにやっていました。特にオレンジはすごく強く、驚きました。他の種目よりも早く終わることができたので他の種目も見ましたが他の種目も楽しくやっているように見受けられました。昼食を摂り、午後の部が始まりました。午後の部は午前の部と違い、順位が決まるので全員本気で勝負という思いが伝わってきました。結局自分の所属するブラッは3位になりましたが、いい試合が出来たと思います。今年はコロナの影響で上宮祭、体育大会が中止になりましたが、いい経験ができたと思います。（大石）

1日目のスポーツの部は各団どのスポーツも接戦だったと思います。僕はバレーをしたのですが、残念ながら優勝することができませんでした。ですがみんな楽しめていたと思うのでよかったです。（和田）

「また同じチームでソフトボールをしたい」と思えるぐらい全力で楽しくプレーすることができました。本番までに何度も大変な目に遭い、周りの人達に迷惑を掛けてしまいましたが、周りの人達のサポートのおかげで乗り越えることができました。（豊田）

二日目のカルチャー部門



軽音楽部の発表



吹奏楽部の発表

合唱のピアノ伴奏

私はすばかるふえすの文化の部でピアノの伴奏をさせていただきました。

正直最初は伴奏をやるつもりではな

かったけど、高校最後の行事で何か率先して自分ができることをしようと思いました。しかし、練習期間が始まってなかなか人が集まらなくて不安しかったです。でも、合唱リーダーの中野さんが声をかけてくれたり励ましてくれたり本当に私にとって心の支えでした。今思えば、しんどい事の方が多かったかもしれないけど、頑張った良かったと思います。最後の方は部活の合間を縫って合唱練習にきてくれたり、大きい声で歌ってくれたりして嬉しかったです。また、短い期間の中でここまでできたのはとても嬉しかったです。何

軽音部として参加

すかるふえすの後半戦 波乱万丈な1日目に負けないくらい盛り上げることができたと思います。僕は軽音楽部に入学していますが、当日はとても楽しめました。みなさんは楽しめましたか？ 僕らのクラブの先輩も最後のライブだったので、みんなで精一杯できたと思います。OBバンドも出ていたのがかっこよかったと思います。バンドを見たのですが、以前よりもさらに上達されていたので、ますますかっこよく感じました！ 軽音楽部以外にもダンス部や合唱の部など他にもたくさんありましたが、とても良かったと思います。（川井田）



生徒会が司会進行しました



ダンス部の発表

映像づくり

僕はUTすばかるふえす2020の文化部門では映像部門の編集をしていました。テーマは上宮太子高等学校の良い所をまとめて学校紹介映像を作ることでした。 どういったことをやるのかと言うとチームの仲間たちと動画の内容の考案や撮影、編集などをします。撮影は色々な失敗があっても何回も撮り直したり、編集もBGMや効果音、テロップなどを付けるのがとても大変でものすごく時間がかかりとても疲れました。実際あまり良い結果は出ませんでした。知らない人とコミュニケーションをとってひとつの作品に取り組む事はとても良い経験になったと感じました。 今年はすばかるふえすという特別なイベントで初めて出来た部門なので、これからもあるかは分かりませんが、是非入ってみてください。（小野寺）



コーラス部の発表

合唱に参加しました

私はすばかるふえすをして、とてもいい経験ができたと思います。球技大会では、本命ではない競技になってしまい最初は嫌々でやりましたが、一緒にチームの先輩や他クラスの子と仲良くなったし、教えてもらったりなどしてとても楽しいものになりました。文化の日では、合唱で動くことになり、とても大きい舞台、明るい照明にとっても緊張しました。この2日間色々な経験、楽しい思い出ができて良かったです。来年もあれば楽しみたいです。（高山）

私は、スポカルフェス2日目の合唱に出させていただきました。合唱の練習では、なかなか人が集まらず、声も出ていなくて、すごく不安な部分も多かったですが、ハモリに力を入れて、パートごとで教え合いながら練習して、本番も、無事悔いなく終えることが出来ました。今回は、新型コロナウイルスの影響で、例年とは違うかたちでの行事となりましたが、沢山の思い出ができたので、良かったです。

文化部の発表について

2日目の文化の部は軽音部とダンス部の発表が迫力があってとても面白かったです。（藤田）

軽音部の迫力やダンス部の表現力のある発表が印象的でした。軽音部のOBの方の音量がほんとに凄くて驚きました。（大石）

文化の方では、譜めくりと合唱で舞台に立たせていただいたことに感謝しています。（豊田）

僕がすばかるふえすで思ったことは去年みたいに体育大会を行うよりふえすの方が迫力があり盛り上がりつつあります。特に驚いたのは運動部だと学年リレー、文化部ではダンス



映像部門



UTすばかるふえす2020 結果発表

～スポーツの部～		第1位	第2位	第3位
サッカー		ライトブルーA	イエローA	ブラックA
				ライトブルーB
ソフトテニス	男子	ライトブルー	イエロー	ブラック
	女子	ブラック	イエロー	オレンジ
バレーボール	男子	オレンジA	ライトブルーA	イエローA
	女子	イエロー	オレンジ	ライトブルー
バスケットボール	男子	ライトブルーA	ライトブルーB	オレンジB
	女子	ライトブルーA	イエローB	ライトブルーB
ドッジボール	男子	イエロー	ライトブルー	ブラック
	女子	オレンジ	ライトブルー	イエロー
ソフトボール		イエロー	オレンジ	ライトブルー

	第1位	第2位	第3位	第4位
チーム対抗リレー	ライトブルー	オレンジ	イエロー	ブラック

～カルチャーの部～	最優秀賞			
合唱部門	チーム ブラック			
映像部門	チーム オレンジ			
チームフラッグ部門	チーム オレンジ			
鑑賞態度	チーム ライトブルー			

得点合計	オレンジ	ライトブルー	イエロー	ブラック
	198点	194点	102点	86点

編集長の感想

すばかるふえすは全体的にとっても楽しかったです。1日目のスポーツの部では学年関係なく協力してできたし、2日目の合唱でもみんなで協力して練習もたくさんしてすごかったのしかったです。ダンス部や軽音楽部や他のクラブの出し物もすごく見て楽しかったです。



編集長（辻本）



生徒会長と各チームリーダーより



合唱で優勝できて嬉しかったです」(辻)

オレンジの団長から

ライトブルーの団長から

①大変だったことは何ですか？「チームのみんなが準備期間に協力してくれたので、大変だったことはないです。」

②楽しかったことは何ですか？「スポーツの部のバスケットで優勝した事です。」

③みんなに伝えたい事はありますか？「みんなが一丸となって楽しめたので、よかったと思います。」

(豊田)



ブラックの団長から

まずスポーツの日についての感想は？

「合計の点数は低かったけど、自分を含めみんな楽しんでくれたから嬉しかった。女子のテニスではブラックが優勝してくれたので嬉しかったです」次にカルチャーの日について



の感想は？「みんなが毎日残って合唱の練習をしてくれたおかげで、合唱で優勝できて嬉しかったです」(辻)



みんなに伝えたい事は何ですか？「来も準 転優勝 は最くから他のチームよりも点数を引き離し優勝を取って下さい」(奥村)

イエローの団長から

みんなに伝えたい事は何ですか？「今年は残念ながら優勝は出来なかったけど、みんな一生懸命に合唱の練習やビデオ作りに取り組んでくれていたし最高に楽しかったのです！来年は優勝出来るように頑張ってください！」

そう言っていたので来年は自分達が引っ張っていく代なのでイエローが少しでも優勝に近づけるように頑張りたいと思います。(和田)

生徒会長より

生徒会長へのインタビュー①生徒会で活動をして

学んだことは何ですか？「最後まで行事ごとを諦めずにやる事の大切

事」

ここで生徒会は新旧入れ替わり



生徒会長西田和の締め挨拶



中間検査も終わり、高1生や高2生は進路も考えるタイミングです。そこで、先を歩んでおられる先輩から学びましょう

後輩(1・2年生)へ贈る受験生の今と高3生からの言葉

2次試験を突破しなければなりません。そして基本的に5教科受験ですので、文系だからといって数学、理科は捨てられません。この苦勞の先にある合格を目指して日々頑張ってください。(乾)

A O入試から

私は管理栄養士の資格を取得出来る大学への進学を目指しています。第1志望の大学のA O入試を受け、もし受からなければ公募、一般までと受けていきます。A O入試の対策としては、国語の先生に志望理由書や自己アピール文等の添削を行ってもらったり、小論文や面接の対策もしてもらおうことです。

公募の対策としては、私は英語、国語、数学が必要となるので各科目の基礎から復習し直しています。また、時間の都合が合えば補習に参加することもあります。補習では授業でやる内容よりも難しいことを少人数でするので上の大学を目指している人や、学力をもっとあげたいと思っている人におすすめです。(中川)

私は、今A O入試にむけてがんばっています。小論文でわたしのやりたいことなどを書き、国語の先生に文章を直してもらっています。もしも落ちた時のために過去問も解いています。そして、分からなかったところなどの類似問題を探し徹底的に勉強しています。(宇澤)

指定校推薦を考えて

私は指定校推薦で受験をしています。これは大学側に願書を提出して受験する方法ではなく、高校の中で選考があり、選ばれた人が大学にいけるといいうシステムです。その他の受験方法に比べ、受験までの準備が少ないように感じられるかもしれませんが、決してそうではありません。高

校生活での勉強や部活動や委員会などの日々の積み重ねがあり、やっと成立するものだ実感しています。そして、指定校推薦を考えている人は、はっきりと将来を見据えていることが大切です。大学でしたいこと、なりた人物像、将来の夢、未来のことを今からたくさん考えることが必要になってくると思います。(浦上)

指定校推薦について

私は、指定校推薦を利用しての大学進学を目指していました。指定校推薦を利用するためには、定期考査で良い結果を出さなければなりません。そこで、今回は私の定期考査の点数の取り方について手短かに教えたいと思います。高校の定期考査は、非常に教科数が多いです。だから、良い点数を取るには、計画を立てて他の生徒よりも早く勉強に取り組みることが重要です。実際、1年の時は計画を立てて定期考査の3週間前から勉強に取り組んだ結果、好成绩を収めることができました。取り組むことができれば早いほど、点数もそれに比例して高くなると思います。1・2年生の生徒はこれからも勉強を頑張ってください。以上のことが生徒の皆さんに参考になれば嬉しいです。(亀田)

指定校推薦の志望理由書

僕は指定校推薦で大学受験をします。指定校推薦は欠席が少なく、評定が大学から提示されたものより高ければ受けられます。指定校推薦は自分が行きたい大学の行きたい学部学科への専願制で合格するとそこ以外の大学、学部学科には行けません。そして指定校推薦では志望理由書というものを書かなければい

けません。この志望理由書は短い時間で書けないので1ヶ月から1ヶ月半前からその大学に行きたい理由や将来の夢について調べておくいいと思います。(竹島)

医療系の公募制推薦

私は、夢が看護師になりたいと言うことで、専門学校か大学かの2つの選択肢があったため、迷いました。しかし、専門学校は大学と違い、即戦力となる力が身につくので、専門学校にしました。専門学校と言っても入試の受け方は大学とは変わりません。大いに変わることはA O入試がないことです。私の入試の受け方は、公募制推薦です。公募は、一般入試と違い、今年中に決まるのがメリットかもしれません。デメリットも言えば、落ちる確率が高いと言うことです。看護系は特にそうです。だから、医療系に進みたい高1生、高2生の皆さんには、これを読んで少しでも役に立てたらと思います。(兼丸)

英検は必ず

1年生の時に大学の話をされた時、まだまだ先の事だと思っただけで2年生が過ぎるのはとても早かったです。現実味がわかっていても考えていくべきだと思います。そして、勉強も志望校が決まっていなくても結果的に自分がどこに行くか評定が足りないとすれば取り返すのは大変です。決まっていなくても、日頃の小テスト、そして中間・期末テストはしっかりと点数を取るようにしたいです。毎年ある英検も部活との両立でなかなか勉強時間の確保は難しいと思いますが、絶対に英検の資格は持っている方が得です。まず、何を頑張ればいいのか分からない人は

英検合格を目指して頑張るといいと思います。(松本)

後悔しないように

受験の時期になると、とても時間が早く感じます。自分自身も1・2年生の頃は「受験なんてまだまだだ。」と思っていましたが特に今年はコロナウイルスの感染拡大防止のための休校が長かったため、僕たち自身はより一層時間の大切さに気づかれています。時間があればたくさん勉強ができて受験に対する準備も十分にできますが、時間がなくて感じてからではもう手遅れになってしまう場合もありますので、早めのうちから基礎を固め、3年生の時には自分の苦手な部分を克服していくことだけに集中できるような環境にしてください。僕たちも手遅れにならないうちに勉強しなさいと言われたきましたが今になってその言葉の重さを感じています。みなさんは後悔しない進路選択をしてください。(松尾)

1000日

私は高一の時、特進で入学式の時に担任の先生が「入試まであと1000日」とおっしゃっていたので早い時期から意識していたんですが、行きたい学部がコロナで変わったり成績がダメダメでした。2年生になり苦しい科目が減って嬉しかったんですが、ダメなことに変わりはありませんでした。3年生になると本気でやろうと思った矢先にコロナで自粛になり、遅いとは思いつつも夏休みからようやく本気になって勉強をしている感じがします。英語を特に頑張っています。リスニングやエングージ、特進の子に借りたヴィンテージを使って英語は勉強しています。もっと早くやれば受験勉強開始すればよかったと思っています。

ばよかったと思っています。(上谷)

モチベーションをあげましょう

受験に向けて大切なことはまず、絶対にその大学に行つて何々をしたい！って目標を立てることが大事だと思う。そうすることでモチベーションもあがります。基礎的なことは絶対に必要で英語や国語は読む時間を早くする練習をしないといけないです。受験に向けてたくさんすべきことがあるので頑張りたいです。(辻本編集長)

皆さん事務所にミニ資料コーナーがあるのを知っていますか？展示品は年に数回変わっています。よかったら見てくださいね。

※今の展示はあと少しで終了となります。



須恵器・土師器



サヌカイトの矢じり



ラグビーOBの活躍